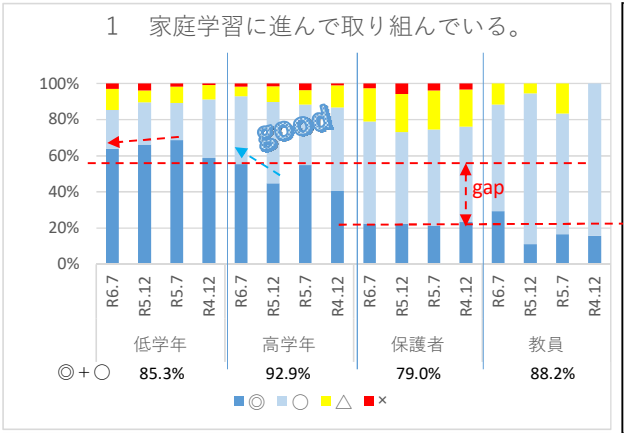
R6.7学校評価アンケート【数値】

1　家庭学習に進んで取り組んでいる。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	64.0%	66.2%	68.7%	58.8%	55.3%	44.9%	54.7%	40.5%	22.4%	22.4%	21.5%	23.3%	29.4%	11.1%	16.7%	15.8%
○	21.3%	23.4%	20.5%	32.4%	37.6%	44.9%	33.7%	46.3%	56.6%	50.6%	53.1%	52.9%	58.8%	83.3%	66.7%	84.2%
△	11.8%	6.5%	9.0%	8.0%	5.3%	8.6%	7.9%	12.1%	18.3%	21.2%	21.5%	20.4%	11.8%	5.6%	16.7%	0.0%
×	2.9%	3.9%	1.8%	0.8%	1.8%	1.6%	3.7%	1.1%	2.8%	5.8%	3.9%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.46	3.52	3.56	3.49	3.46	3.33	3.39	3.26	2.99	2.90	2.92	2.96	3.18	3.06	3.00	3.16



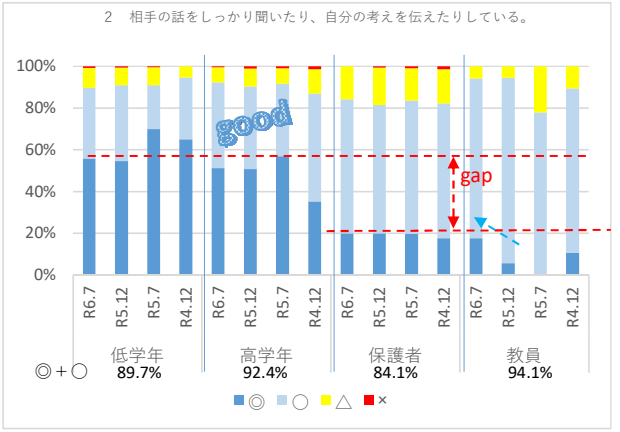
＜総括＞
○児童の捉えでは家庭学習に進んで取り組んでいるという意識が高い。
○高学年で大幅に改善が見られた。

＜留意点＞
・低学年では若干のポイント低下。
・児童と保護者・教員との意識のギャップがある。

＜今後＞
・家庭との情報連絡の取り方を工夫したり、なぜ宿題をするのか目的意識を持たせたりしていきたい。
・タブレットを活用した家庭学習も実施していく中で、意欲を高められる内容を検討していきたい。

2　相手の話をしっかり聞いたり、自分の考えを伝えたりしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	55.9%	54.5%	69.9%	64.9%	51.2%	50.8%	56.8%	35.3%	20.0%	19.9%	19.7%	17.5%	17.6%	5.6%	0.0%	10.5%
○	33.8%	36.4%	21.1%	29.7%	41.2%	39.5%	34.7%	51.6%	64.1%	61.5%	63.9%	64.7%	76.5%	88.9%	77.8%	78.9%
△	9.6%	8.4%	8.4%	5.4%	7.1%	8.6%	7.4%	11.6%	15.9%	17.9%	15.5%	16.4%	5.9%	5.6%	22.2%	10.5%
×	0.7%	0.6%	0.6%	0.0%	0.6%	1.1%	1.1%	1.5%	0.0%	0.6%	0.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.45	3.45	3.60	3.60	3.43	3.40	3.47	3.21	3.04	3.01	3.02	2.98	3.12	3.00	2.78	3.00



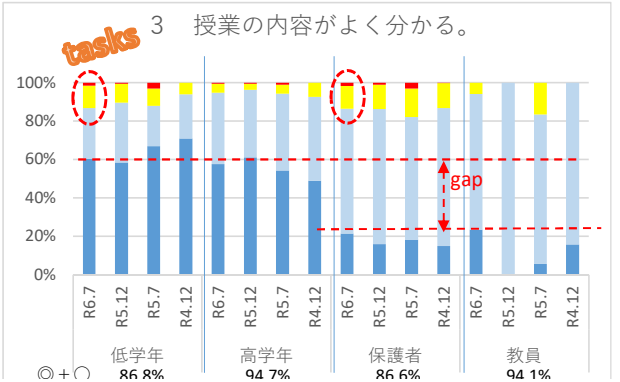
＜総括＞
○児童の捉えではできているという意識が高い。
○教員の回答で◎の割合が増えた。

＜留意点＞
・児童と保護者・教員との意識のギャップがある。

＜今後＞
・「聞き方」「話し方」の指導をしていくとともに、話が聞ける雰囲気づくりを大切にしていきたい。

3　授業の内容がよく分かる。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	60.3%	58.4%	66.9%	70.9%	57.6%	61.1%	54.2%	48.9%	21.4%	16.0%	18.2%	14.9%	23.5%	0.0%	5.6%	15.8%
○	26.5%	31.2%	21.1%	23.0%	37.1%	35.1%	40.0%	43.7%	65.2%	70.2%	63.9%	71.8%	70.6%	100.0%	77.8%	84.2%
△	11.8%	9.7%	9.0%	6.0%	4.7%	3.2%	4.7%	7.3%	11.7%	12.8%	14.9%	12.9%	5.9%	0.0%	16.7%	0.0%
×	1.5%	0.6%	3.0%	0.1%	0.6%	0.5%	1.1%	0.1%	1.7%	1.0%	3.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



＜総括＞
○児童の捉えでは授業の内容がよく分かると感じている割合が高い。（特に高学年）

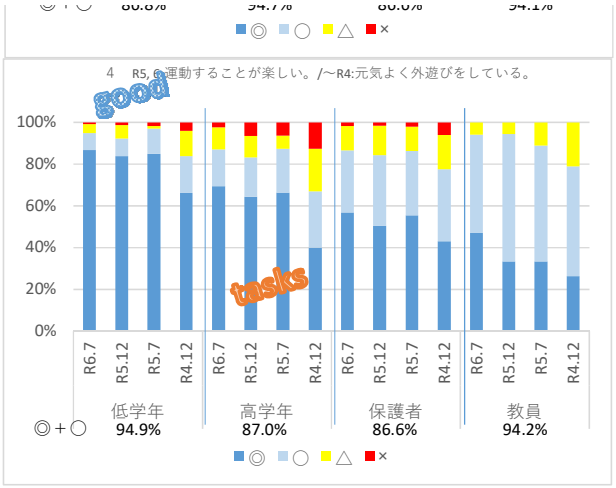
＜留意点＞
・低学年にしては△×の回答割合が高い。
・児童の回答で△×の割合が微増していることに注意したい。
・児童と保護者・教員との意識のギャップがある。

＜今後＞
・校内研修の充実、個別最適な学びの在り方の検討、学習支援員・発達支援員の活用等対応を進めていきたい。

平均	3.46	3.47	3.52	3.65	3.52	3.57	3.47	3.41	3.06	3.01	2.97	3.01	3.18	3.00	2.89	3.16

4　R5, 6:運動することが楽しい。/～R4:元気よく外遊びをしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	86.8%	83.8%	84.9%	66.2%	69.4%	64.0%	66.3%	40.0%	56.9%	50.3%	55.5%	43.1%	47.1%	33.3%	33.3%	26.3%
○	8.1%	8.4%	12.0%	17.6%	17.6%	18.8%	21.1%	26.8%	29.7%	34.0%	30.7%	34.5%	47.1%	61.1%	55.6%	52.6%
△	4.4%	6.5%	1.2%	12.2%	10.6%	10.2%	6.3%	20.5%	11.7%	14.1%	11.6%	16.4%	5.9%	5.6%	11.1%	21.1%
×	0.7%	1.3%	1.8%	4.0%	2.4%	6.5%	6.3%	12.6%	1.7%	1.6%	2.1%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.81	3.75	3.80	3.46	3.54	3.39	3.47	2.94	3.42	3.33	3.40	3.15	3.41	3.28	3.22	3.05



・多様性の実態に合わせ、R5.7より**質問項目を変更**した。

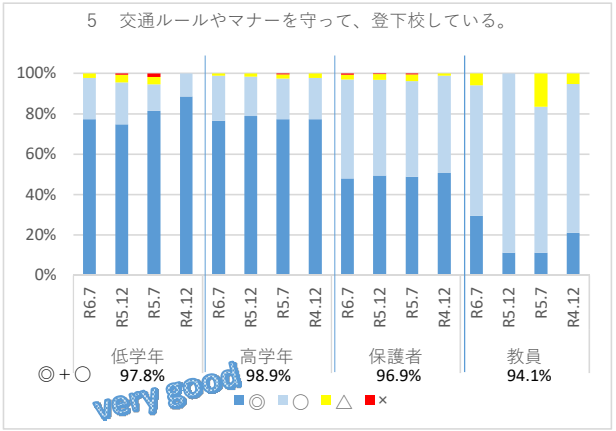
＜総括＞
○全体として、運動することを楽しんでいる児童が多い。
○高学年、教員では大幅に改善が見られた。

＜留意点＞
・（改善傾向にはあるが）高学年になるにつれて低下する傾向がある。

＜今後＞
・運動をする楽しさや意義を感じられるように、取り組みを充実させていきたい。

5　交通ルールやマナーを守って、登下校している。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	77.2%	74.7%	81.3%	88.5%	76.5%	78.9%	77.4%	75.8%	47.9%	49.4%	48.7%	50.6%	29.4%	11.1%	11.1%	21.1%
○	20.6%	20.8%	13.3%	11.5%	22.4%	19.5%	20.0%	20.0%	49.0%	47.4%	47.5%	48.3%	64.7%	88.9%	72.2%	73.7%
△	2.2%	3.9%	3.6%	0.0%	1.2%	1.6%	2.1%	2.2%	2.4%	2.9%	3.3%	1.1%	5.9%	0.0%	16.7%	5.3%
×	0.0%	0.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.7%	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.75	3.69	3.74	3.89	3.75	3.77	3.74	3.68	3.44	3.46	3.44	3.49	3.24	3.11	2.94	3.16



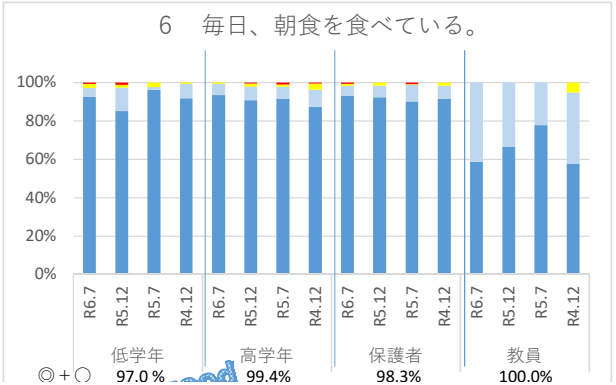
＜総括＞
○例年と大きな変化は見られず、ほとんどの児童は守ることができている。
○児童の回答では△×が減った。

＜留意点＞
・登下校や放課後の交通マナーについて、時々地域から報告が挙がる。

＜今後＞
・児童の交通安全への意識が高まるよう、引き続き指導していきたい。

6　毎日、朝食を食べている。

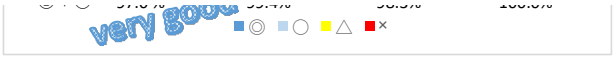
	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	92.6%	85.1%	96.4%	91.9%	93.5%	90.8%	91.6%	87.4%	93.1%	92.3%	90.1%	91.7%	58.8%	66.7%	77.8%	57.9%
○	4.4%	12.3%	1.2%	7.4%	5.9%	7.0%	6.3%	8.9%	5.2%	6.1%	8.7%	6.6%	41.2%	33.3%	22.2%	36.8%
△	2.2%	1.3%	2.4%	0.7%	0.6%	1.6%	1.1%	3.2%	1.0%	1.6%	0.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
×	0.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	1.1%	0.5%	0.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



＜総括＞
○ほとんどの家庭で、朝食を毎日食べる習慣ができている。

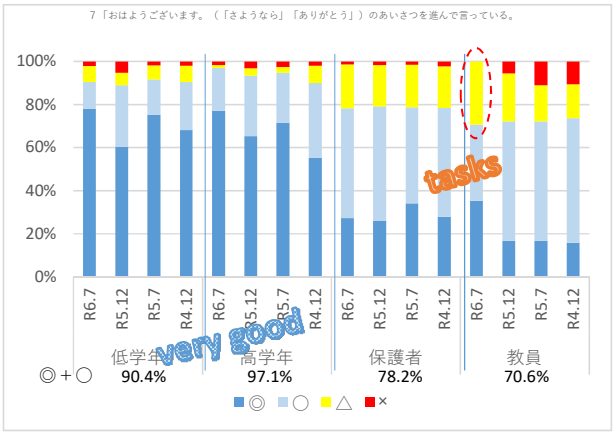
＜留意点＞
・△×も少数ながら一定数いるので、生活環境の変化には引き続き注意が必要。

平均	3.89	3.81	3.94	3.91	3.93	3.88	3.88	3.83	3.91	3.91	3.88	3.90	3.59	3.67	3.78	3.53



7「おはようございます。（「さようなら」「ありがとう」）のあいさつを進んで言っている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	77.9%	60.4%	75.3%	68.2%	77.1%	65.4%	71.6%	55.3%	27.2%	26.0%	34.0%	27.9%	35.3%	16.7%	16.7%	15.8%
○	12.5%	28.6%	16.3%	22.3%	20.0%	28.1%	23.2%	34.7%	51.0%	53.2%	44.8%	50.6%	35.3%	55.6%	55.6%	57.9%
△	7.4%	5.8%	6.6%	7.5%	1.2%	3.2%	2.6%	8.0%	20.3%	19.2%	19.7%	19.3%	29.4%	22.2%	16.7%	15.8%
×	2.2%	5.2%	1.8%	2.0%	1.8%	3.2%	2.6%	2.0%	1.4%	1.6%	1.5%	2.3%	0.0%	5.6%	11.1%	10.5%
平均	3.66	3.44	3.65	3.57	3.72	3.56	3.64	3.43	3.04	3.04	3.11	3.04	3.06	2.83	2.78	2.79



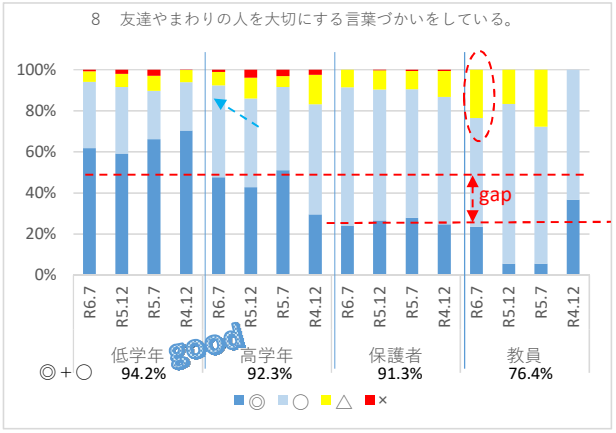
＜総括＞
◎あいさつについては、児童及び教員の回答で大幅に改善が見られた。

＜留意点＞
・児童と保護者・教員との意識のギャップが大きい。
・保護者、教員の意識では△×の割合が高めである。

＜今後＞
・あいさつの在り方についても多様化してきている（大きな声で言うのがすべてではない）が、相手に伝わるコミュニケーションがとれるように、引き続き指導していきたい。

8　友達やまわりの人を大切にする言葉づかいをしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	61.8%	59.1%	66.3%	70.3%	47.6%	42.7%	51.1%	29.5%	24.1%	26.6%	27.8%	24.7%	23.5%	5.6%	5.6%	36.8%
○	32.4%	32.5%	23.5%	23.6%	44.7%	43.2%	40.5%	53.7%	67.2%	63.8%	62.7%	62.1%	52.9%	77.8%	66.7%	63.2%
△	5.1%	6.5%	7.2%	6.0%	6.5%	10.3%	5.3%	14.2%	8.6%	9.3%	9.0%	12.6%	23.5%	16.7%	27.8%	0.0%
×	0.7%	1.9%	3.0%	0.1%	1.2%	3.8%	3.2%	2.6%	0.0%	0.3%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.55	3.49	3.53	3.64	3.39	3.25	3.39	3.10	3.16	3.17	3.18	3.11	3.00	2.89	2.78	3.37



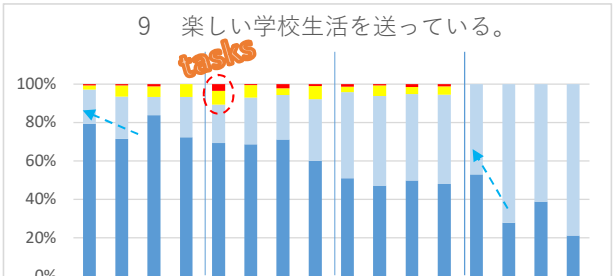
＜総括＞
○言葉遣いについて意識できている児童が多い。
○高学年と教員の回答で大幅に改善が見られた。

＜留意点＞
・言語環境の悪化は学校風土の悪化につながるおそれがあるので、注意が必要。
・児童と教員とで認識にギャップが大きい項目である。

＜今後＞
・道徳や学級の時間、人間関係プログラム等、教育活動全体を通して指導していきたい。

9　楽しい学校生活を送っている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	79.4%	71.4%	83.7%	72.3%	69.4%	68.6%	71.1%	60.0%	51.0%	47.1%	49.9%	48.0%	52.9%	27.8%	38.9%	21.1%
○	17.6%	22.1%	9.6%	20.9%	20.0%	24.3%	23.2%	32.1%	44.8%	46.8%	45.1%	46.6%	47.1%	72.2%	61.1%	78.9%

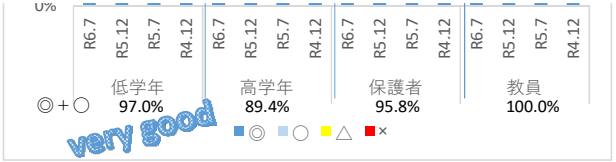


＜総括＞
○児童の捉えでは楽しい学校生活を送っている子が多い。特に低学年では大幅にアップ。

＜留意点＞
・高学年の△×が微増したので注意が必要。

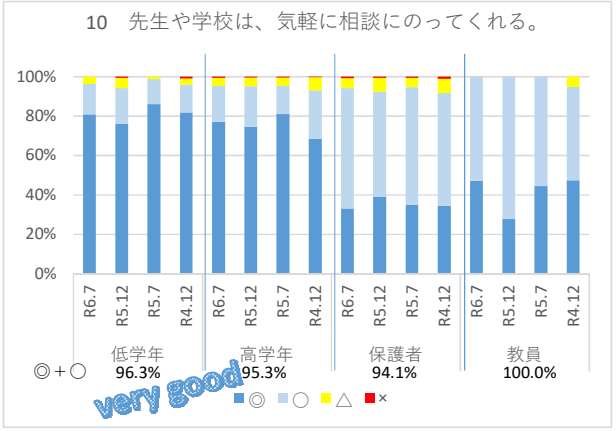
＜今後＞
・学級担任、教科担任をはじめ、職員間で情報を共有し、気になる表れに対応していきたい。

△	2.2%	5.8%	5.4%	6.8%	7.1%	6.5%	3.7%	6.9%	2.8%	5.4%	3.6%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
×	0.7%	0.6%	1.2%	0.0%	3.5%	0.5%	2.1%	1.0%	1.4%	0.6%	1.5%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.76	3.64	3.76	3.66	3.55	3.61	3.63	3.51	3.46	3.40	3.43	3.41	3.53	3.28	3.39	3.21



10　先生や学校は、気軽に相談にのってくれる。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	80.9%	76.0%	86.1%	81.8%	77.1%	74.6%	81.1%	68.4%	33.1%	39.1%	34.9%	34.5%	47.1%	27.8%	44.4%	47.4%
○	15.4%	18.2%	12.7%	14.2%	18.2%	20.5%	14.2%	24.7%	61.0%	53.2%	59.7%	57.2%	52.9%	72.2%	55.6%	47.4%
△	3.7%	5.2%	1.2%	3.0%	4.1%	4.3%	4.2%	6.5%	5.2%	7.1%	4.8%	7.2%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
×	0.0%	0.6%	0.0%	1.0%	0.6%	0.5%	0.5%	0.4%	0.7%	0.6%	0.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.77	3.69	3.85	3.77	3.72	3.69	3.76	3.61	3.27	3.31	3.29	3.25	3.47	3.28	3.44	3.42

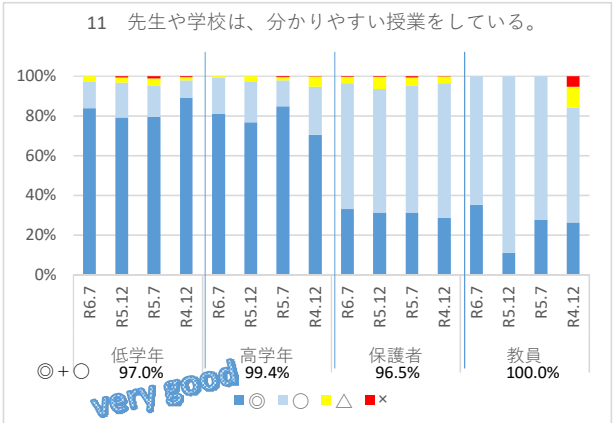


＜総括＞
◎引き続き、全体的に◎○の割合がとても高い。

＜今後＞
◎教員が温かく関わろうとする意識の成果が出ている。
・ただし、一部見られる△×の子について、担任以外や保護者等も含め、少なくとも相談の窓口となる人がいることは大切です。「生活・心のアンケート」で挙がった子の様子も気に掛けいきたい。

11　先生や学校は、分かりやすい授業をしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	83.8%	79.2%	79.5%	89.2%	81.2%	76.8%	84.7%	70.5%	33.1%	31.4%	31.3%	28.7%	35.3%	11.1%	27.8%	26.3%
○	13.2%	17.5%	15.7%	8.8%	18.2%	20.5%	13.2%	24.2%	63.4%	62.2%	63.9%	67.8%	64.7%	88.9%	72.2%	57.9%
△	2.9%	2.6%	3.6%	1.5%	0.6%	2.7%	1.6%	5.1%	3.1%	6.1%	4.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%
×	0.0%	0.6%	1.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%	0.3%	0.3%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
平均	3.81	3.75	3.73	3.87	3.81	3.74	3.82	3.65	3.29	3.25	3.26	3.25	3.35	3.11	3.28	3.05

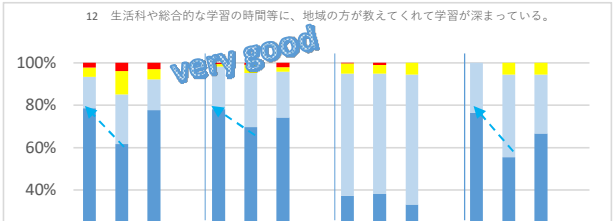


＜総括＞
◎全体的に＋○の割合がとても高い。

＜今後＞
・「３　授業の内容がよく分かる。」とは必ずしも一致しません。個に応じた指導を充実させていく必要があります。

12　生活科や総合的な学習の時間等に、地域の方が教えてくれて学習が深まっている。

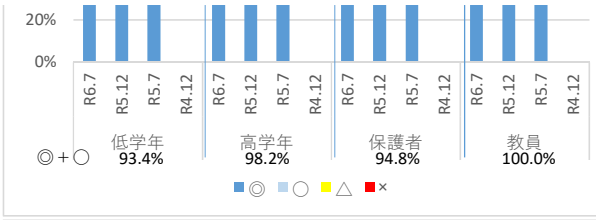
	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	78.7%	61.7%	77.7%		78.2%	69.7%	74.2%		37.2%	38.1%	33.1%		76.5%	55.6%	66.7%	



・R5.7より**新規の項目**です。

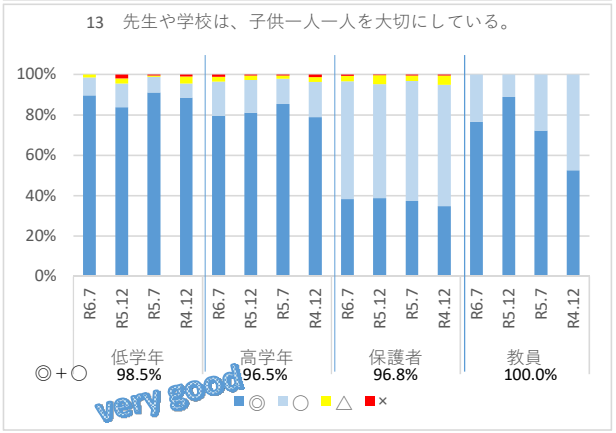
＜総括＞
◎CSが授業に入っていただくことの成果が出ている。
◎昨年度以上にポイントがアップ。

○	14.7%	23.4%	14.5%		20.0%	25.4%	21.6%		57.6%	56.7%	61.2%		23.5%	38.9%	27.8%	
△	4.4%	11.0%	4.8%		1.2%	3.8%	2.1%		4.8%	4.2%	5.7%		0.0%	5.6%	5.6%	
×	2.2%	3.9%	3.0%		0.6%	1.1%	2.1%		0.3%	1.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	
平均	3.70	3.43	3.67		3.76	3.64	3.68		3.32	3.32	3.27		3.76	3.50	3.61	



13　先生や学校は、子供一人一人を大切にしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	89.7%	83.8%	91.0%	88.5%	79.4%	81.1%	85.3%	78.9%	38.3%	38.8%	37.3%	34.8%	76.5%	88.9%	72.2%	52.6%
○	8.8%	11.7%	7.8%	7.0%	17.1%	16.2%	12.6%	17.4%	58.3%	56.4%	59.4%	60.1%	23.5%	11.1%	27.8%	47.4%
△	1.5%	2.6%	0.6%	3.5%	2.4%	2.2%	1.6%	2.3%	2.8%	4.5%	2.7%	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
×	0.0%	1.9%	0.6%	1.0%	1.2%	0.5%	0.5%	1.4%	0.7%	0.3%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.88	3.77	3.89	3.83	3.75	3.78	3.83	3.74	3.34	3.34	3.33	3.29	3.76	3.89	3.72	3.53

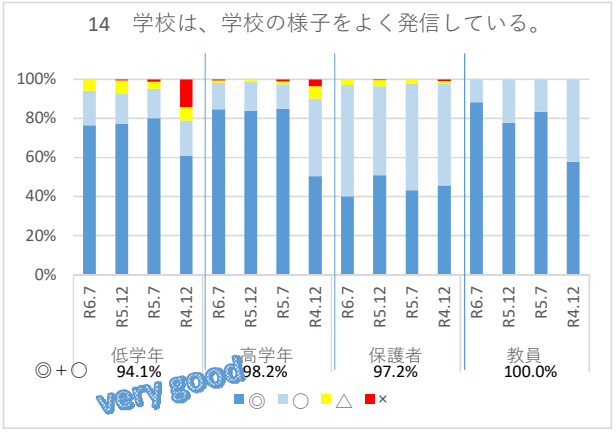


＜総括＞
◎全体的に引き続き高い水準にある。
◎教員の意識の面でも、引き続きよい変化が見られる。

＜今後＞
☆「心理的安全性」が根底にあることで、子供たちが安心して学校に来て、自分らしく成長していくことができる。今後も引き続き、意識していきたい。

14　学校は、学校の様子をよく発信している。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	76.5%	77.3%	80.1%	60.8%	84.7%	83.8%	84.7%	50.5%	40.0%	51.0%	43.3%	45.7%	88.2%	77.8%	83.3%	57.9%
○	17.6%	15.6%	15.1%	18.2%	13.5%	15.1%	12.6%	39.5%	57.2%	45.5%	54.3%	52.0%	11.8%	22.2%	16.7%	42.1%
△	5.9%	6.5%	3.6%	6.8%	1.2%	1.1%	1.6%	6.5%	2.8%	3.2%	2.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
×	0.0%	0.6%	1.2%	14.2%	0.6%	0.0%	1.1%	3.5%	0.0%	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.71	3.69	3.74	3.26	3.82	3.83	3.81	3.37	3.37	3.47	3.41	3.43	3.88	3.78	3.83	3.58

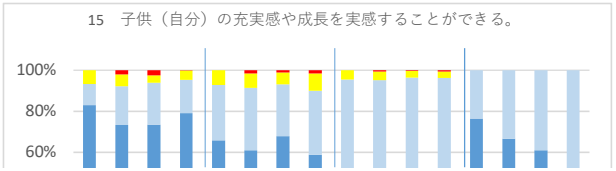


＜総括＞
◎全体として引き続き高い水準を維持できている。

＜今後＞
・HPや各種たよりに加え、職員室前や昇降口、各学年での掲示でも子供たちの頑張りや今伝えたいことが掲示されていることが、認知されてきているので、今後も継続していきたい。

15　子供（自分）の充実感や成長を実感することができる。

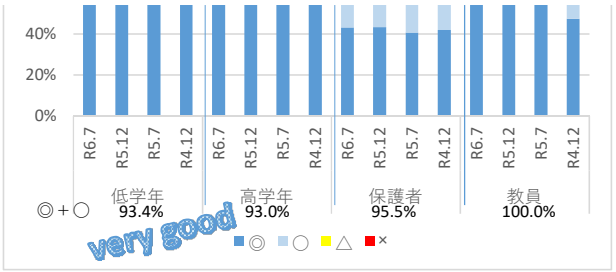
	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12



＜総括＞
◎全体として、引き続き高い水準を維持できています。

＜留意点＞
・自己肯定感の低い児童の理由を追究しておきたい。

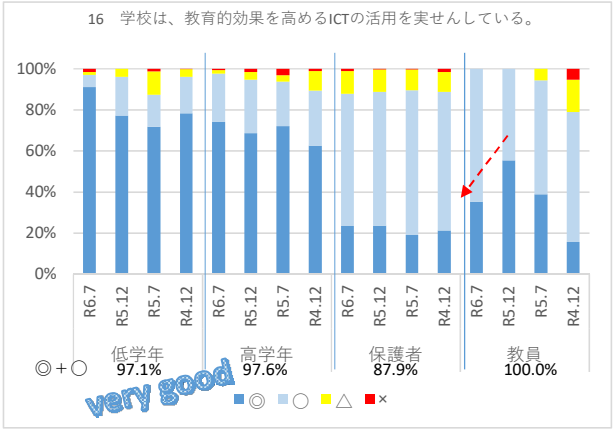
	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	83.1%	73.4%	73.5%	79.1%	65.9%	61.1%	67.9%	58.9%	43.1%	43.3%	40.6%	42.0%	76.5%	66.7%	61.1%	47.4%
○	10.3%	18.8%	20.5%	16.2%	27.1%	30.3%	25.3%	31.1%	52.4%	51.9%	55.8%	54.3%	23.5%	33.3%	38.9%	52.6%
△	6.6%	5.8%	3.6%	4.6%	7.1%	7.0%	5.8%	8.4%	4.5%	4.2%	3.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
×	0.0%	1.9%	2.4%	0.1%	0.0%	1.6%	1.1%	1.6%	0.0%	0.6%	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
平均	3.76	3.64	3.65	3.74	3.59	3.51	3.60	3.47	3.39	3.38	3.37	3.38	3.76	3.67	3.61	3.47



＜今後＞
・よい表れを積極的に取り上げ、称揚していきたいです。
・保護者連絡では、よくないことの報告だけでなく、よい表れについても積極的に伝えていきたい。

16　学校は、教育的効果を高めるICTの活用を実せんしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	91.2%	77.3%	71.7%	78.4%	74.1%	68.6%	72.1%	62.6%	23.4%	23.7%	19.1%	21.3%	35.3%	55.6%	38.9%	15.8%
○	5.9%	18.8%	15.7%	17.6%	23.5%	25.9%	21.6%	26.8%	64.5%	65.1%	70.4%	67.5%	64.7%	44.4%	55.6%	63.2%
△	1.5%	3.9%	11.4%	3.9%	1.8%	3.8%	3.2%	9.5%	11.0%	10.9%	10.1%	9.8%	0.0%	0.0%	5.6%	15.8%
×	1.5%	0.0%	1.2%	0.1%	0.6%	1.6%	3.2%	1.1%	1.0%	0.3%	0.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
平均	3.87	3.73	3.58	3.74	3.71	3.62	3.63	3.51	3.10	3.12	3.08	3.09	3.35	3.56	3.33	2.89

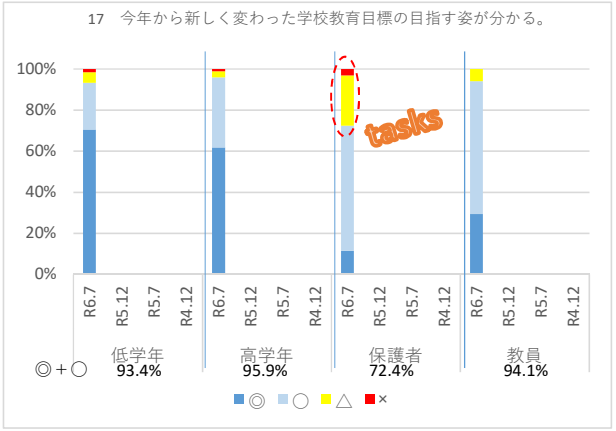


＜総括＞
◎全体的にとても意識が高くできています。
○「何でもICTでやってみる」から「必要感のある内容にICTを活用する」局面に変化してきた。

＜今後＞
・ICT=「道具」として当たり前になっていくようにしたい。
・「情報リテラシーの個人差」が児童も教員も大きいので、その差を埋められる手立てが必要である。
・家庭へのタブレット持ち帰りを本格化し、ICT活用の幅をさらに広げ、保護者にも周知を図っていきたい。

17　今年から新しく変わった学校教育目標の目指す姿が分かる。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	70.6%				61.8%				11.4%				29.4%			
○	22.8%				34.1%				61.0%				64.7%			
△	5.1%				2.9%				24.5%				5.9%			
×	1.5%				1.2%				3.1%				0.0%			
平均	3.63				3.56				2.81				3.24			



・R5.7より**新規の項目**です。
＜総括＞
○児童及び教員の◎○の割合が高く、新しい学校教育目標が浸透しつつある。

＜留意点＞
・子供の表れを通して、保護者に変化を感じていただけなかった点を反省し、今後の在り方を見直したい。

＜今後＞
・引き続き、様々な場面で学校教育目標に立ち返っていく場面を設定したい。
・保護者にもさらに情報発信して理解していただき、協力を仰いでいきたい。

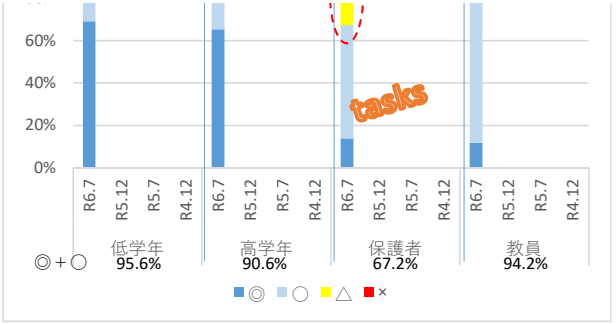
18「なりたい自分(目標)」を持ちながら、授業や活動に取り組もうとしている。

	低学年	高学年	保護者	教員

・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○児童及び教員の◎○の割合が高く、「なりたい自分(目標)」を明確にすることができている

	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	69.1%				65.3%				13.8%				11.8%			
○	26.5%				25.3%				53.4%				82.4%			
△	3.7%				7.6%				30.7%				5.9%			
×	0.7%				1.8%				2.1%				0.0%			
平均	3.64				3.54				2.79				3.06			



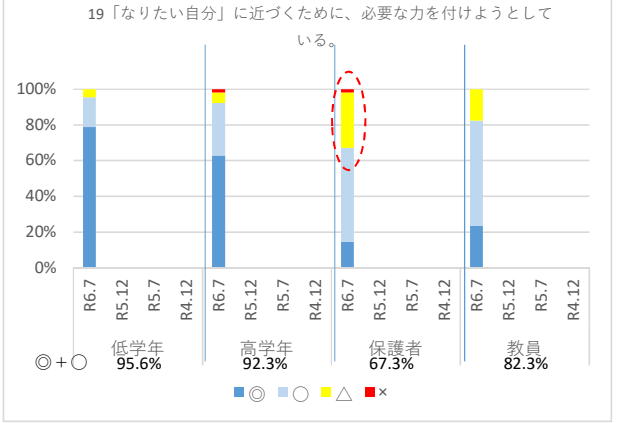
「目標」を明確にすることができている。

＜留意点＞
・子供の表れを通して、保護者に変化を感じていただけなかった点を反省し、今後の在り方を見直したい。

＜今後＞
・保護者にもさらに情報発信して理解していただき、協力を仰いでいきたい。

19「なりたい自分」に近づくために、必要な力を身に付けようとしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	78.7%				62.9%				14.5%				23.5%			
○	16.9%				29.4%				52.8%				58.8%			
△	4.4%				5.9%				31.0%				17.6%			
×	0.0%				1.8%				1.7%				0.0%			
平均	3.74				3.54				2.80				3.06			



・R6.7より**新規の項目**です。

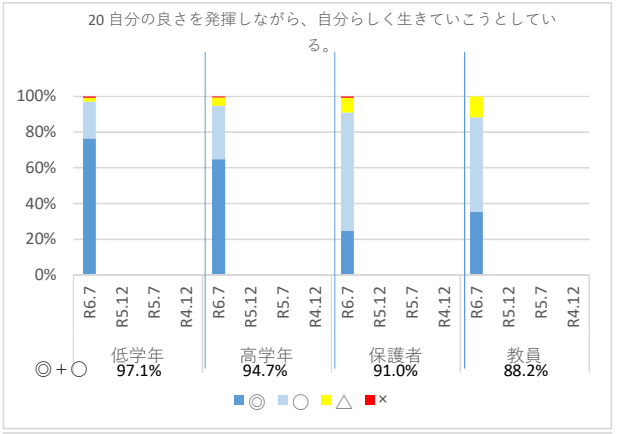
＜総括＞
○児童の◎○の割合が高い。

＜留意点＞
・保護者や教員の評価は厳しめである。
・子供の表れを通して、保護者に変化を感じていただけなかった点を反省し、今後の在り方を見直したい。

＜今後＞
・必要な力を明確にして、身に付けていくための支援を充実させていきたい。

20 自分の良さを発揮しながら、自分らしく生きていこうとしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	76.5%				64.7%				24.8%				35.3%			
○	20.6%				30.0%				66.2%				52.9%			
△	2.2%				4.7%				8.3%				11.8%			
×	0.7%				0.6%				0.7%				0.0%			
平均	3.73				3.59				3.15				3.24			

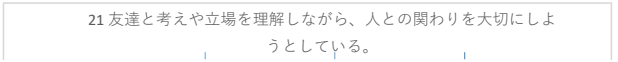


・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○全体的に◎○の割合が高い。

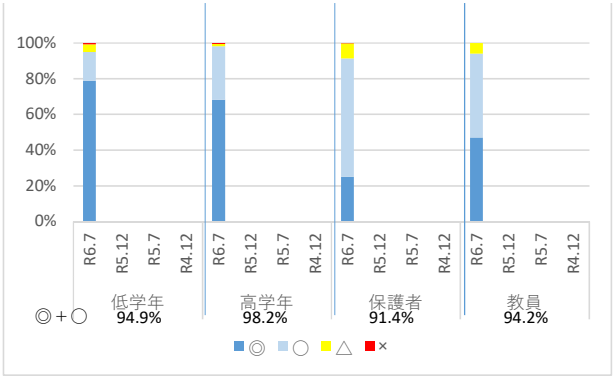
＜今後＞
・引き続き、児童の個性、良さを大切にしていく。

21 友達の考えや立場を理解しながら、人との関わりを大切にしようとしている。



・R6.7より**新規の項目**です。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	78.7%				68.2%				25.2%				47.1%			
○	16.2%				30.0%				66.2%				47.1%			
△	4.4%				1.2%				8.3%				5.9%			
×	0.7%				0.6%				0.3%				0.0%			
平均	3.73				3.66				3.16				3.41			

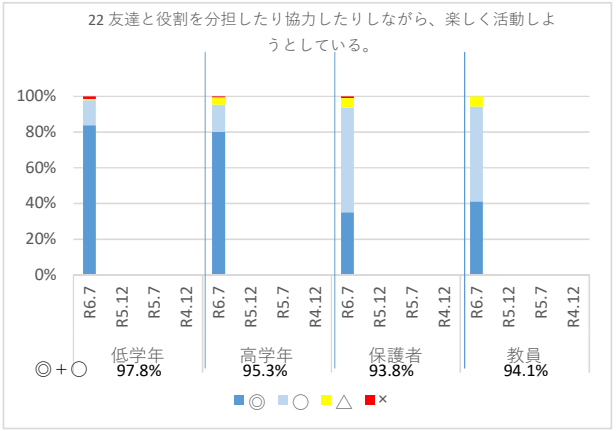


＜総括＞
○全体的に◎○の割合が高い。

＜今後＞
・引き続き、学活や道徳をはじめ、教育活動全体で意識していきたい。

22 友達と役割を分担したり協力したりしながら、楽しく活動しようとしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	83.8%				80.0%				35.2%				41.2%			
○	14.0%				15.3%				58.6%				52.9%			
△	0.7%				4.1%				5.2%				5.9%			
×	1.5%				0.6%				1.0%				0.0%			
平均	3.80				3.75				3.28				3.35			



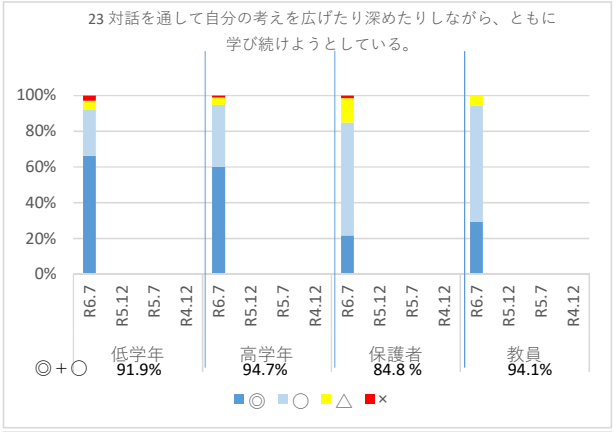
・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○全体的に◎○の割合が高い。

＜今後＞
・引き続き、協働的な活動を充実させていきたい。

23 対話を通して自分の考えを広げたり深めたりしながら、ともに学び続けようとしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	66.2%				60.0%				21.7%				29.4%			
○	25.7%				34.7%				63.1%				64.7%			
△	5.1%				4.1%				13.8%				5.9%			
×	2.9%				1.2%				1.4%				0.0%			
平均	3.55				3.54				3.05				3.24			



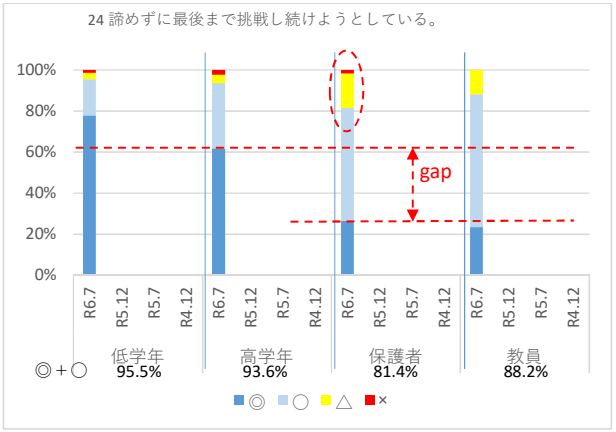
・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○全体的に◎○の割合が高い。

＜今後＞
・対話、コミュニケーションには苦手意識を持つ子も見られる。支援の充実が求められる。

24 諦めずに最後まで挑戦し続けようとしている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	77.9%				61.8%				26.6%				23.5%			
○	17.6%				31.8%				54.8%				64.7%			
△	2.9%				4.1%				16.9%				11.8%			
×	1.5%				2.4%				1.7%				0.0%			
平均	3.72				3.53				3.06				3.12			



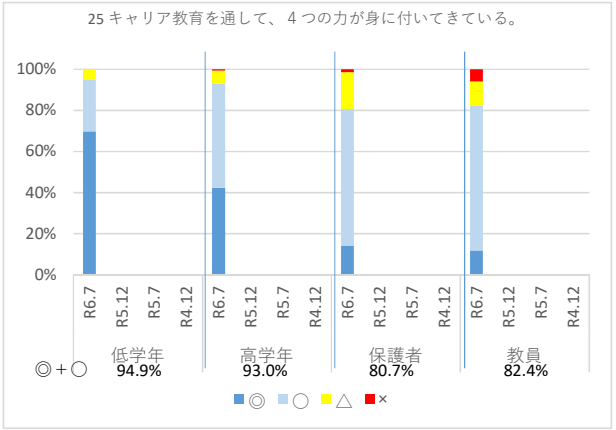
・R6.7より**新規の項目**です。
＜総括＞
○全体的に◎○の割合が高い。

＜留意点＞
・保護者や教員の求める姿勢とはギャップが大きい。

＜今後＞
・「課題設定は適切か」「諦めずに取り組めるような手立て（支援）ができているか」等についての見直していく必要がある。

25 キャリア教育を通して、４つの力(かかわろう・みつめよう・やってみよう・つなげよう)が身に付いてきている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	69.9%				42.4%				14.1%				11.8%			
○	25.0%				50.6%				66.6%				70.6%			
△	5.1%				6.5%				17.9%				11.8%			
×	0.0%				0.6%				1.4%				5.9%			
平均	3.65				3.35				2.93				2.88			



・R6.7より**新規の項目**です。

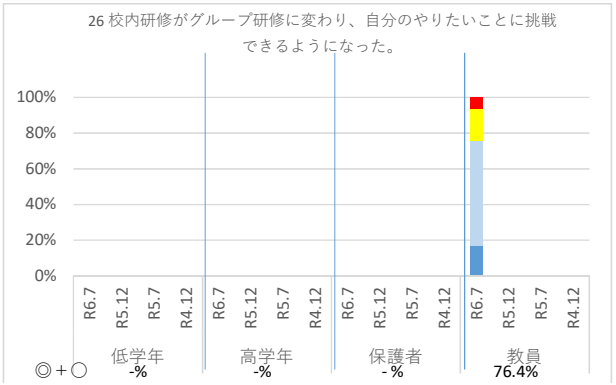
＜総括＞
○児童の◎○の割合が高い。

＜留意点＞
・保護者や教員の△×の割合が少し高い。

＜今後＞
・基礎的・汎用的能力を整理し、どのように身に付けていくのか戦略を練りたい。

26 校内研修がグループ研修に変わり、自分のやりたいことに挑戦できるようになった。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎													17.6%			
○													58.8%			
△													17.6%			
×													5.9%			



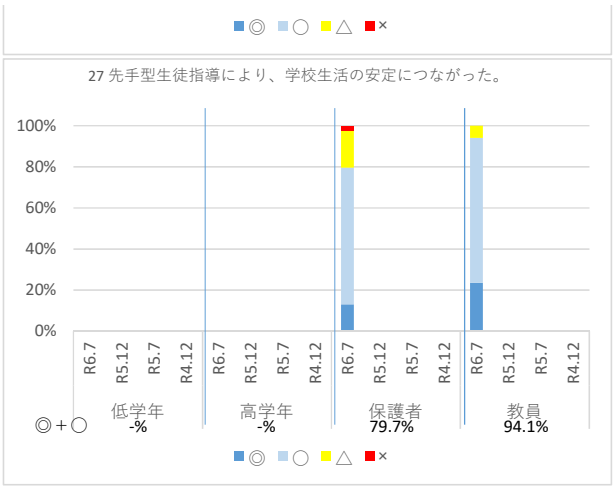
・R6.7より**新規の項目**です。

＜今後＞
・まだ始まったばかりであるので、よりよい進め方を模索し、検討していきたい。

平均												2.88			

27 先手型生徒指導（プロアクティブ）により、学校生活の安定につながった。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎									13.1%				23.5%			
○									66.6%				70.6%			
△									17.9%				5.9%			
×									2.4%				0.0%			
平均									2.90				3.18			



・R6.7より**新規の項目**です。

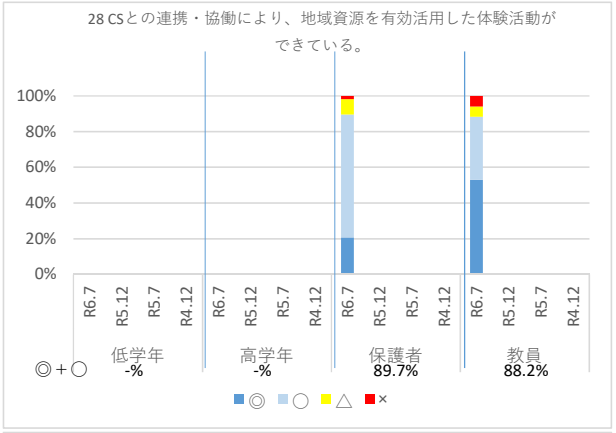
＜総括＞
○教員の意識では効果を感じている。

＜留意点＞
・保護者の理解は十分に得られていない。

＜今後＞
・プロアクティブのねらいと具体的な手立てを保護者、教員で共有していきたい。

28 学校運営協議会(CS)との連携・協働により地域資源(人・物)を有効活用した体験活動ができている。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎									20.7%				52.9%			
○									69.0%				35.3%			
△									8.6%				5.9%			
×									1.7%				5.9%			
平均									3.09				3.35			



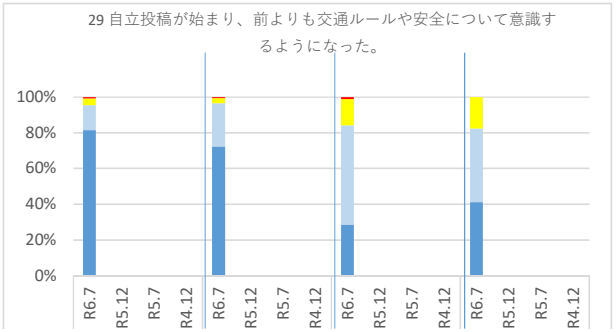
・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○CSとの連携・協働の成果が認められる。

＜今後＞
・CSの内容や活動をさらに知っていただき、保護者も巻き込んで協力を得たい。（保護者ボランティア含む）

29 自立登校が始まり、前よりも交通ルールや安全について意識するようになった。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	81.6%				72.4%				28.6%				41.2%			
○	14.0%				24.1%				55.5%				41.2%			
△	3.7%				2.9%				14.8%				17.6%			



・R6.7より**新規の項目**です。

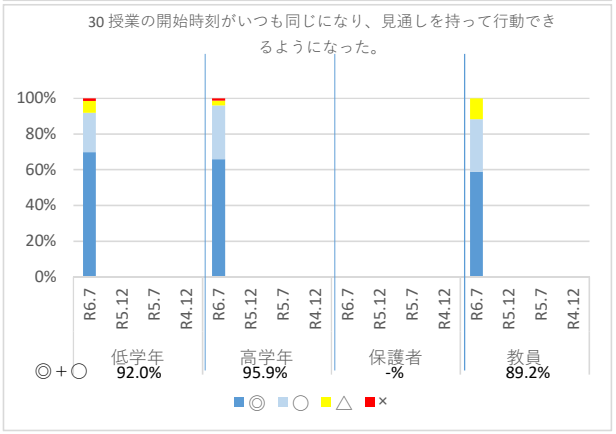
＜総括＞
○自立登校の目的を達成しようという児童の努力が認められる。

＜今後＞
・引き続き、課題点を共有したり、児童にも考えさせる場を設けたりして、自立登校の目的に立ち返るようにしていきたい。

×	0.7%				0.6%				1.0%				0.0%			
平均	3.76				3.68				3.12				3.24			

30 授業の開始時刻がいつも同じになり、見通しを持って行動できるようになった。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	69.9%				65.9%								58.8%			
○	22.1%				30.0%								29.4%			
△	6.6%				2.9%								11.8%			
×	1.5%				1.2%								0.0%			
平均	3.60				3.61								3.47			



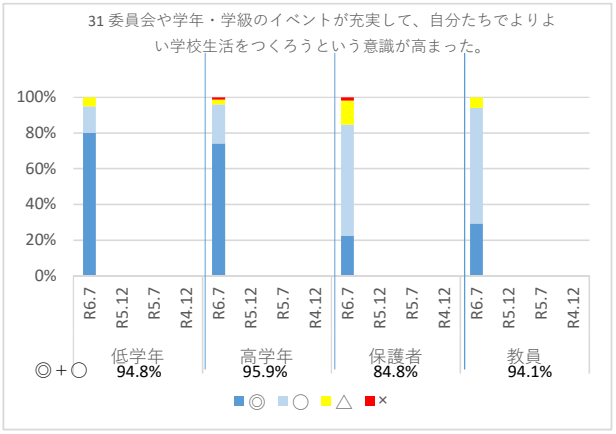
・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○児童・教員ともに◎○の割合が高い。

＜今後＞
・３・２・１運動とも連動し、意識させていくようにしたい。

31 委員会や学年・学級のイベントが充実して、自分たちでよりよい学校生活をつくろうという意識が高まった。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	80.1%				74.1%				22.4%				29.4%			
○	14.7%				21.8%				62.4%				64.7%			
△	5.1%				2.9%				13.4%				5.9%			
×	0.0%				1.2%				1.7%				0.0%			
平均	3.75				3.69				3.06				3.24			



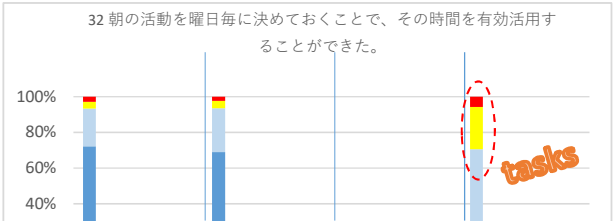
・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○児童、教員ともに◎○の割合が高い。

＜今後＞
・今後も計画的にイベントを充実させていきたい。

32 朝の活動を曜日毎に決めておくことで、その時間(例えば学年・学級の時間、タブレット学習の時間)を有効活用することができた。

	低学年				高学年				保護者				教員			
	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12	R6.7	R5.12	R5.7	R4.12
◎	72.1%				68.8%								17.6%			



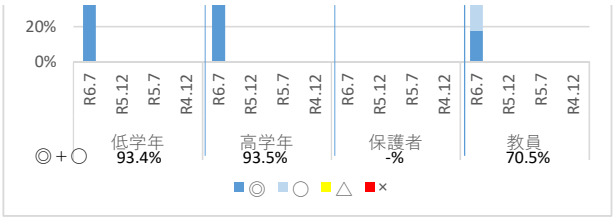
・R6.7より**新規の項目**です。

＜総括＞
○児童は◎○の割合が高い。

＜留意点＞
・教員は△×の割合がやや高い。

＜今後＞

○	21.3%				24.7%								52.9%			
△	3.7%				4.1%								23.5%			
×	2.9%				2.4%								5.9%			
平均	3.63				3.60								2.82			



・朝活動に何をするかを明確にし、有効活用を図りたい。